

事業所名

リトルぱれっと

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		小さなことからコツコツと着実にStep up！ 型にはまらず！楽しもう！乗り越えよう！見守ろう！仲間を思う気持ちを大切にしよう！		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団活動において円滑に関わりが持てる様、遊びや生活を通してSSTを取り入れた支援 ・ 個々の能力に合わせての支援内容の確立 		
営業時間		9時00分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得として荷物の整理や管理、連絡帳の提出などを習慣化出来るように支援しています。学習、集団活動、余暇活動の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう決まった時間での誘導と支援を行います。		
	運動・感覚	活動によって、子ども一人ひとりの支援に専門性を用いて支援を行っています。理学療法士による軽スポーツや体幹トレーニング、ダンスなどを取り入れ身体機能の向上に繋げています。保育士による視覚・聴覚といった感覚的向上を図るために制作活動を行っています。		
	認知・行動	タイムスケジュールや環境設定（切り替えの声掛けや、タイマー設定など）を工夫し、見通しを明確にし習慣化を身に付けています。ライフスキルトレーニングの一環として、戸外活動を行い公共施設や公園へ出向き社会性を身に付けられるようにしています。		
	言語 コミュニケーション	SSTの時間を設け、例題や利用中に起こった事案をテーマに相手気持ちや対応の方法を汲み取る支援をしています。集団活動を通して、相手を思いやる気持ちや応援する言葉がけが出来る様支援しています。		
	人間関係 社会性	毎週のイベントを通して協力し合い、成功体験を積み重ねる中でルールや順番を守る様に支援しています。集団活動を通して、円滑にコミュニケーションが取れる様に普段の会話を聞き、気になる事案があれば振り返り、社会的能力の向上に支援しています。		
家族支援		連絡帳にその日の様子を書き、時間が限られた保護者に情報共有をしています。家庭での困りごとに対する助言や困り感や気づきをいつでも話せる環境を確保しています。	移行支援	学校や関連の福祉施設との情報共有、連携を行っています。
地域支援・地域連携		地域のスーパーへの買い物 公共施設の利用時、他者との交流、社会的ルールの獲得	職員の質の向上	一人一人の児童に対する担当者会議の実施 毎月全体会議を行い、発達特性と支援の手立てについて研修等で学び専門性を高め共有しています。 支援の中での気付きや変化は職員間で共有し、積極的に事例ケース会議を実施しています。
主な行事等		年二回の避難訓練 毎月のイベントや季節に合わせた行事等（調理イベント、戸外活動、レクリエーション、夏祭り、ハロウィン、クリスマスパーティー、初詣）		